856-120917-733-A

MN8141-33
ディスク増設ユニット
タワーコンバージョンキット

取扱説明書

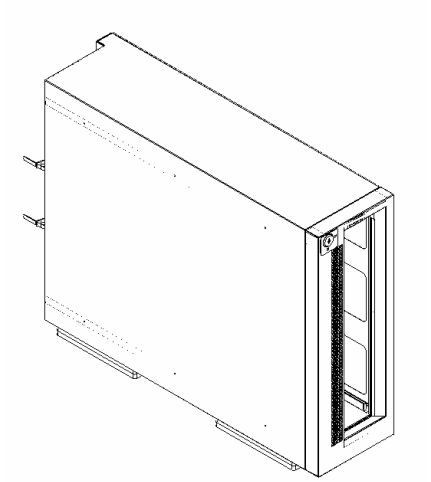
この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
本製品（MN8141-33 ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキット）の使用につきましては、本取扱説明書、ディスク増設ユニットの取扱説明書および本体装置に添付のユーザーズガイドをよくお読みになりご使用願います。
また、ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
本説明書をお読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

MN8141-33
ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキット
構成品一覧表

箱の中身を確認してください

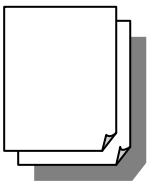
このたびは、MN8141-33 ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキットをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず添付品がそろっているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。
万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。
なお、オプション製品をあらかじめ組み込んで出荷している場合には、この他にオプション製品の付属品が入っています。

□本体

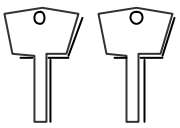


添付品箱の中身

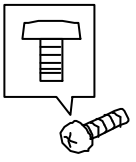
□構成品一覧表（本書）
取扱説明書
はじめにお読み下さい



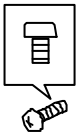
□セキュリティキー　２個



□ネジ(大)
４個
(M５ミリネジ)



□ネジ(小)
２個
（インチネジ）



海外での使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
（4） 本書は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
（5） 運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

使用上のご注意　～必ずお読みください～

ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキットを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全に関わる表示について

ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキットを安全にお使い頂くために、この取り扱い説明書の指示に従って操作してください。
本書には、ご使用時にどこが危険であるか、指示を守らないとどのような危険にあうか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、使用時に危険が想定される個所、あるいはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す用語として、「警告」と「注意」を使用しています。
それぞれの用語は、次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠警告　**指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示しています。**

⚠注意　**指示を守らないと、火傷やケガなどを負うおそれや、物理的損害を負うおそれがあることを示しています。**

危険に対する注意・表示には次の３種類の記号を使用しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	**注意の喚起**	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表しています。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。
⃠	**行為の禁止**	この記号は行為の禁止を表しています。記号の中や近くの絵表示は、禁止された行為の内容を図案化したものです。
●	**行為の強制**	この記号は行為の強制を表しています。記号の中の絵表示は必要な行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためには、この行為が必要です。

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

感電のおそれがあることを示します。

発煙または発火のおそれがあることを示します。

指などが挟まれるおそれがあることを示します。

高温による損害を負うおそれがあることを示します。

特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

特定しない一般的な禁止を示します。

本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。

行為の強制

本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。

特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をして下さい。

安全上のご注意

ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキットを安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全に関わる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにサーバの POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。（サーバの電源を OFF にするとそれに連動してディスク増設ユニットの電源も OFF します。）その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やハードディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。

装置内に水や異物をいれない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告

ぬれた手で電源プラグを持たない。
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

アース線をガス管につながない
アース線は絶対にガス栓につながないでください。ガス爆発の原因になります。

注意

指定以外のコンコントに差し込まない
電源は指定された電圧・電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場合には設置しないでください。本装置の電源仕様に合ってないコードに接続すると、コードが加熱して火災の原因となります。

たこ足配線にしない
コンセントに定格以上の電流がながれることによって、加熱して火災の原因となるおそれがあります。

中途半端に差し込まない
電源コードは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない
ディスク増設ユニットに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為をおこなわないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステープラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。（損傷した電源コードはすぐに同じ規格の電源コードと取り替えてください。取り替えに関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠ 注意

ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない
ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを固定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。

二人以下でで持ち上げない
タワーコンバージョンが完了したディスクユニットは、最大４５Kg(構成によって異なる)あります。移動の際は、必ず３人以上で運んでください。２人以下でおこなうと腰を痛めたり、ディスク増設ユニットを落としてけがをしたり、周辺の破損の原因となります。装置の底面をしっかりと持っておこなってください。また、フロントベゼルを持って、持ち上げないでください。フロントベゼルが外れて落下し、けがの原因となります。

指定以外の場所に設置しない
ディスク増設ユニットを次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所
- 給湯器のそばなどの湿気の多い場所
- 直射日光が当たる場所
- 不安定な場所

スタビライサを閉じたまま設置しない
ディスク増設ユニットが倒れてけがの原因になります。また、周辺の家財に損害を与えるおそれがあります

指を挟まない
タワーコンバージョンをおこなう際やディスク増設ユニットの内蔵オプションを取付ける際に、指を挟んだりしないよう十分注意してください。

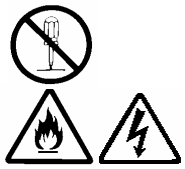
プラグを抜かずにインタフェースケーブルの取付けや取り外しをしない
インタフェースケーブルの取付け／取り外しは電源コードをコンセントから抜いておこなってください。たとえ、電源ユニットがオフ状態でも電源コードを接続したままケーブルに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。また、ケーブルの取り付け、取り外しは接続先の電源を切ってからおこなってください。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない
インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。
また、インタフェースケーブルの取扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。インタフェースケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり汚れたりしていないことを確認してください。
- ケーブルを履まない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- インタフェースケーブルの接続がゆるんだまま使用しないでください。インタフェースケーブルを接続したら、ネジ止めなどのロックを確実におこなってください。インタフェースケーブルを取り外すときはロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

⚠警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造をおこなったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

プラグを抜かずに取り扱わない

お手入れやオプションボードの取り付け、取り外しは、本装置の電源ユニットをオフにして、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。たとえ電源ユニットをオフにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品やコネクタに触れると感電したりショートによる火災をおこしたりするおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

⚠注意

高温注意

本装置の電源ユニットをオフにした直後は、ディスクドライブなどをはじめ装置内部の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取付け、取り外しをおこなってください。

中途半端に取付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、オプションボードは確実に取付けてください。中途半端に取付けると接触不良をおこし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

本装置の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります（装置内蔵のファンモジュール、電源ユニット）。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

運用中の注意事項

⚠ 注意

雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを引き抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。

装置の上にものを載せない

本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

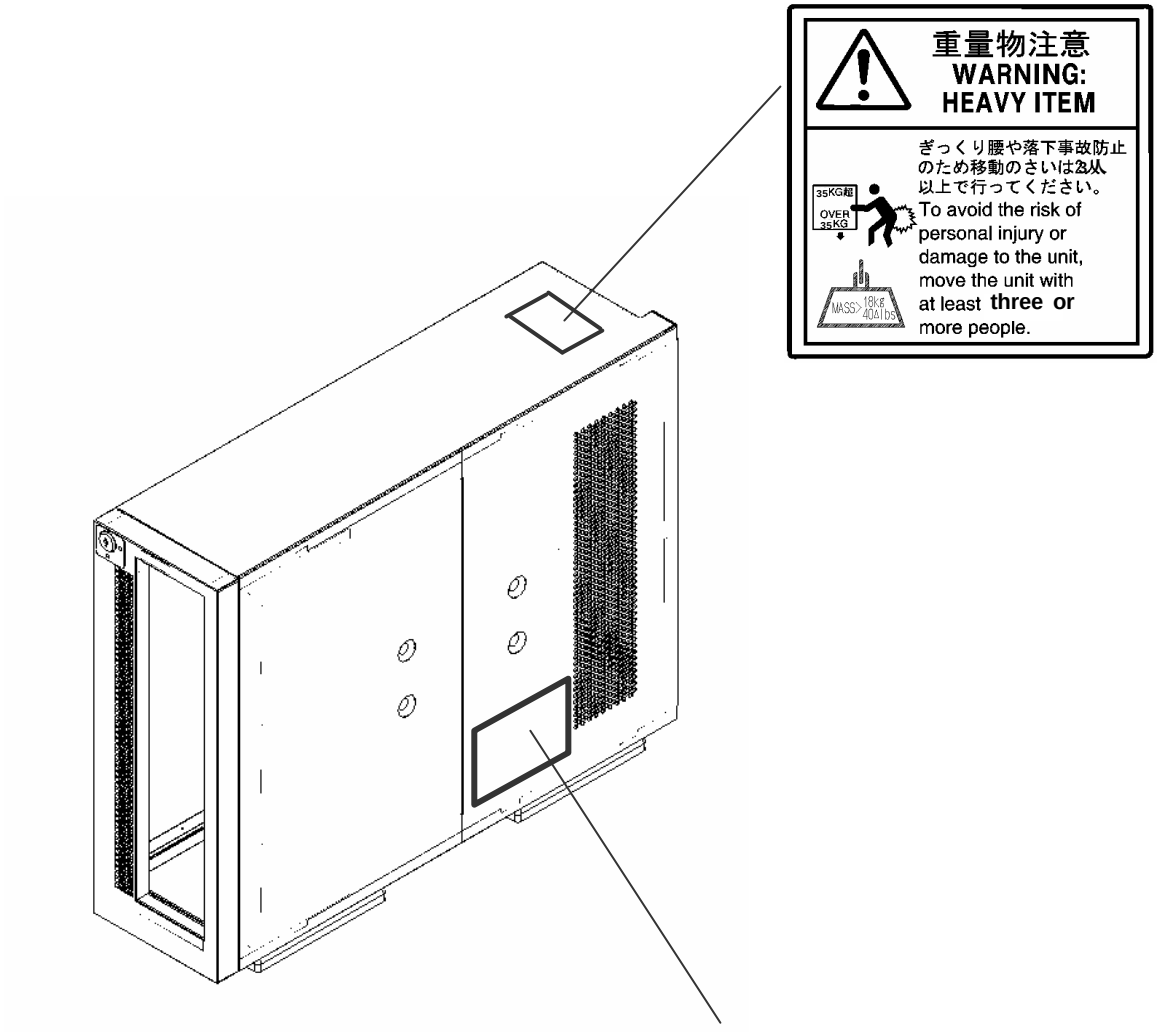
本装置のそばでは携帯電話やＰＨＳ、ポケットベルの電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因になります。

警告ラベルについて

ディスク増設筐体には、危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識して頂くためのものです（ラベルをはがしたり汚したりしないでください）。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読不能な状態でしたら、販売店にご連絡ください。


重量物注意
WARNING:
HEAVY ITEM
35KG超
OVER 35KG
ぎっくり腰や落下事故防止のため移動のさいは3人以上で行ってください。
To avoid the risk of personal injury or damage to the unit, move the unit with at least three or more people.
MASS> 18kg 40LBS

⚠ 注 意 CAUTION

オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。
Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.
電源プラグを抜く　感電注意

ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意下さい。
Do not drop any screws inside the system.

ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザーズガイドを参照し、正しく接続して下さい。誤った接続は、故障や火災の原因となります。
Refer to "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.

指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意して下さい。
To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system.

装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかり持って持ち上げて下さい。
Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.

付属品の確認

ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキットの梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

付属品について
添付品はセットアップをするときやオプションを増設するとき必要となりますので大切に保管してください。

第三者への譲渡について

ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキットまたは、ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキットに添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、本書を一緒にお渡しください。

消耗品・装置の廃棄について

■ ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキット、ディスク増設ユニットおよびハードディスク、オプションボードなどの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

■ ディスク増設ユニットの部品の中には、寿命により交換が必要な物があります（装置ファンなど）。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。なお、交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

目　次

使用上のご注意　～必ずお読みください～…… 3

安全に関わる表示について…… 3
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容…… 4
安全上のご注意…… 5
警告ラベルについて…… 10

付属品の確認…… 11

第三者への譲渡について…… 11

消耗品・装置の廃棄について…… 11

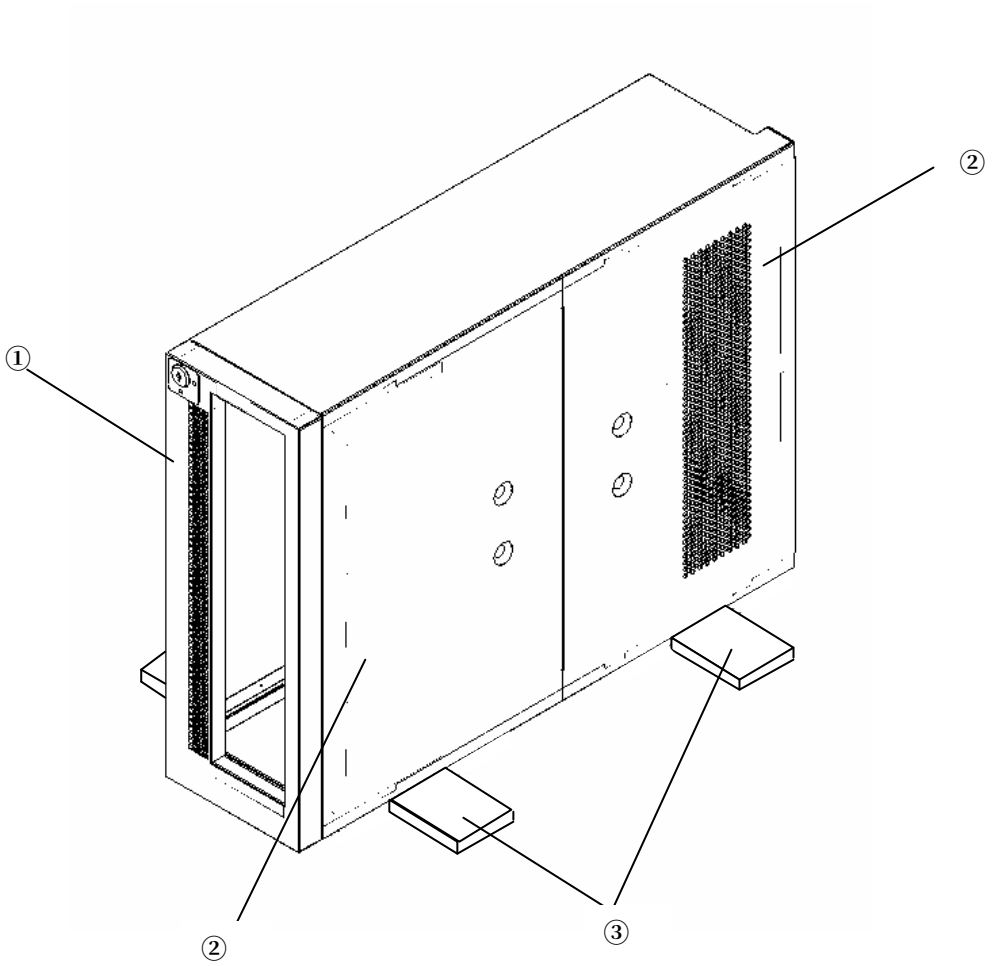
１．各部の名称……13

２．タワーコンバージョンの手順……14

３．サイドカバーの取り外し／取り付け……24

１．各部の名称

タワーコンバージョンキットの各部の名称について説明します。



①フロントベゼル
②サイドカバーA（装置前面側）／サイドカバーB（装置背面側）
ディスク増設ユニット側面を保護するカバー。
SCSIを２系統に分割（スプリットバス構成）にするためのオプションボード(MN8190-65）を実装するときとファンモジュールを交換するときに取り外します。
③スタビライザ
ディスク増設ユニットを設置するときに装置の底面から引き出して使用します。

２．タワーコンバージョンの手順

本章では、ラック型のディスク増設ユニットからのタワーコンバージョンの手順を説明します。

必要な工具

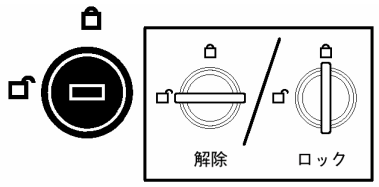
タワーコンバージョンに必要な工具はプラスドライバーです。

タワーコンバージョンキットの準備

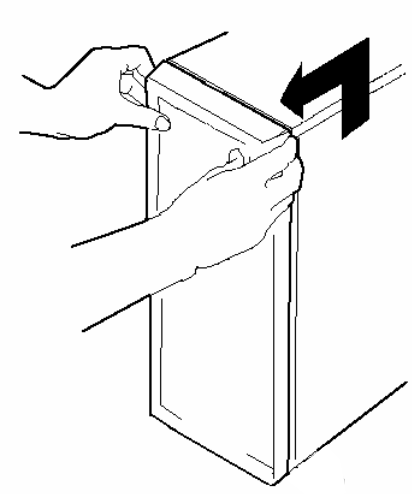
タワーコンバージョンは、タワーコンバージョンキットを横に倒した状態で、ディスク増設ユニットをタワーコンバージョンキット内に挿入します。

１．タワーコンバージョンキットのフロントベゼルを取り外す。
セキュリティーキーを使って、ロックを解除し、フロントベゼルを外します。

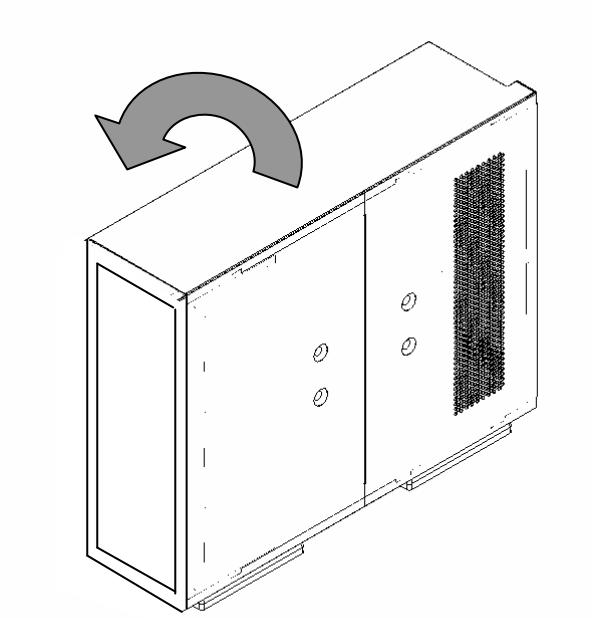
１．キースロットにセキュリティキーを差し込み、
キーを回してロックを解除する。



２．フロントベゼルを引き上げ取り外します。



２．サイドカバーＡおよびサイドカバーＢが上になるように静かに横に倒します。



重要

倒す方向を間違いないように静かに倒してください。
倒すときはスタビライザは底面に収納してください。
側面に傷が付くのを防ぐため、梱包材のビニールシートを敷いた上に倒してください。

ディスク増設ユニットの準備

１．ディスク増設ユニットに搭載されているハードディスクドライブ、電源ユニットを全て取り外します。
取り外しの方法は、ディスク増設ユニットの取扱説明書を参照してください。

重要

取り外したハードディスクドライブ、電源ユニットは、タワーコンバージョン後
同じ位置に取り付けます。取り付けてあった位置をメモなどしておいてください。

２．ラックに搭載されているディスク増設ユニットをラックから取り出します。
ラックからの取り外しの方法はディスク増設ユニットの取扱説明書を参照してください。

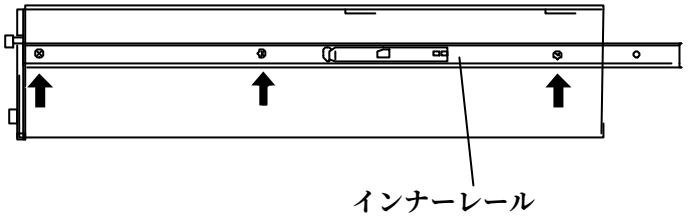
重要

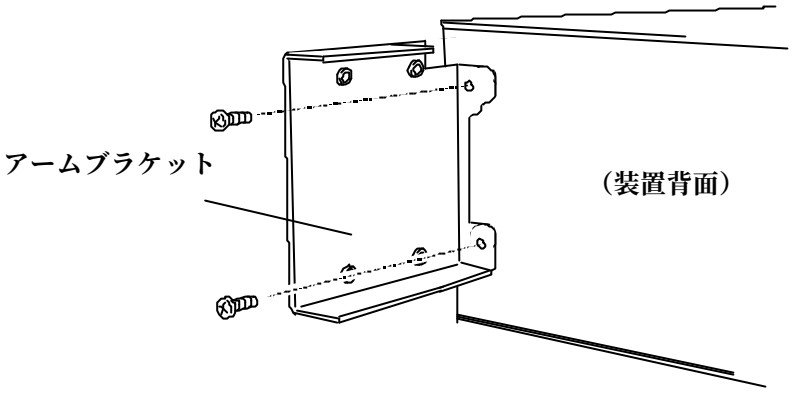
ディスク増設ユニットのラックからの取り出しの方法は必ずディスク増設ユニット
の取扱説明書をよく読んでからおこなってください。

⚠注意

- 一人で持ち上げない
- 指を挟まない

3．ディスク増設ユニットのインナーレール（左右）と装置背面のアームブラケットを取り外します。

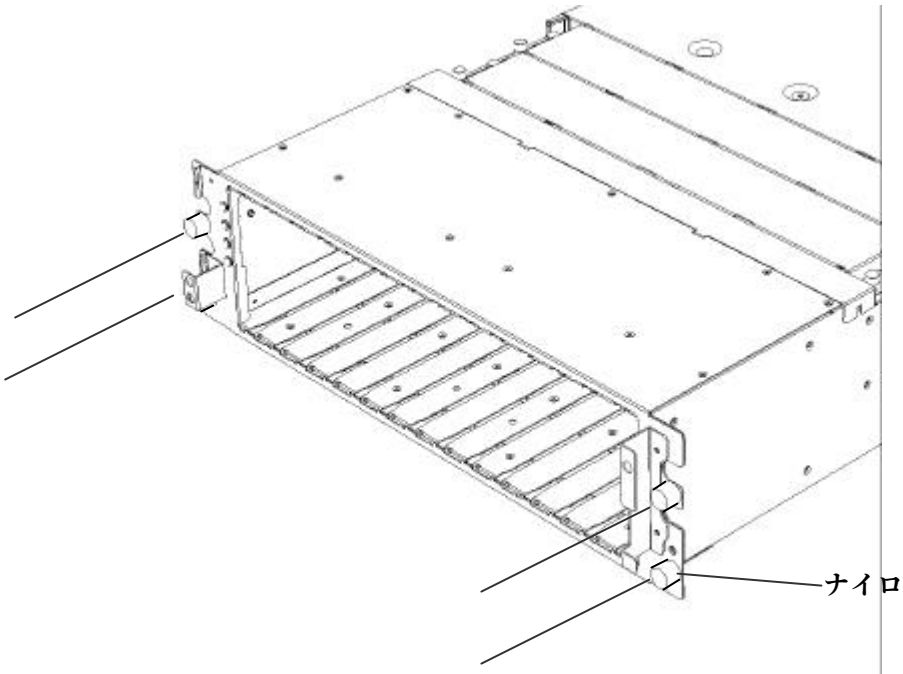


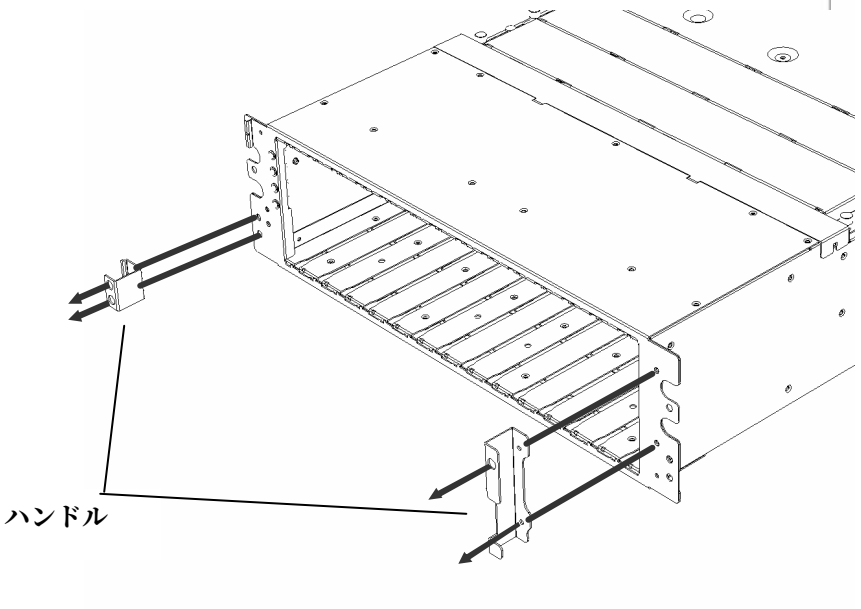


４．つまみネジ（４ヶ）とハンドル（左右２ヶ）を取り外します。

ヒント

つまみネジは、ナイロンワッシャで本体に固定しています。
ナイロンワッシャを取り外すことで、つまみネジを取り外すことができます。

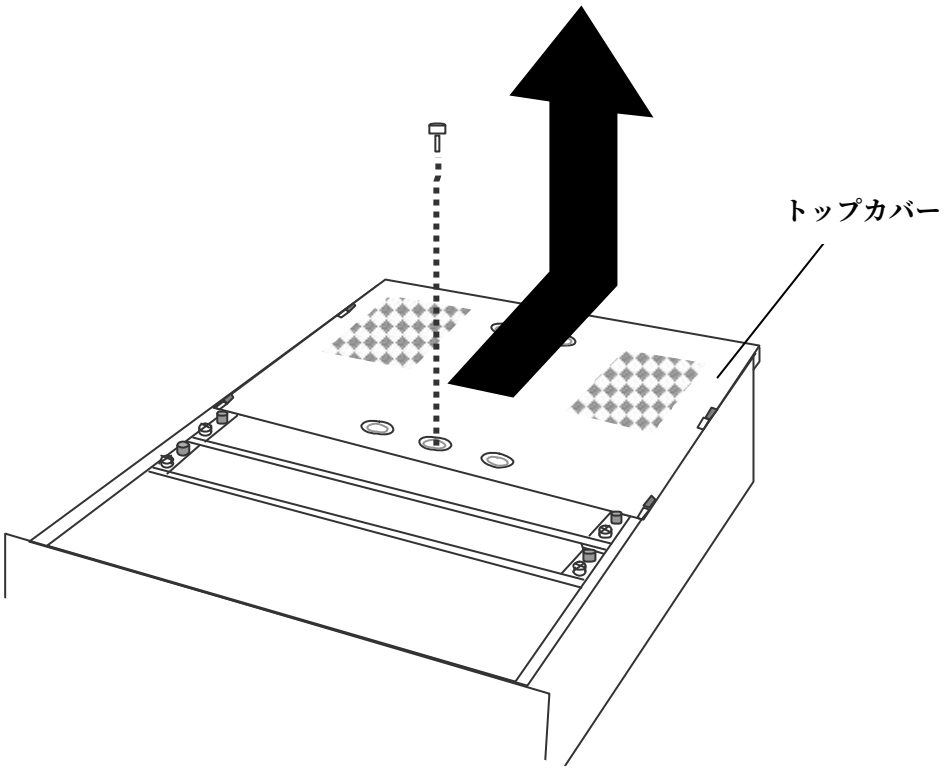




５．トップカバーを取り外します。
上面のネジを外しトップカバーを取り外します。

重要

ディスク増設ユニット内部の部品は静電気に弱い電子部品で構成されています。トップカバーを取り外した際は内部に触れないようにするなどして静電気による製品の故障に十分注意してください。

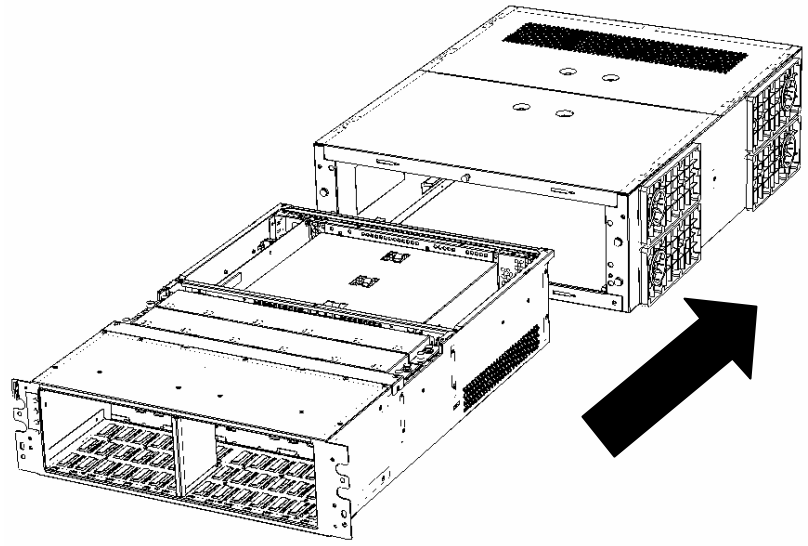


タワーコンバージョンキットへの挿入

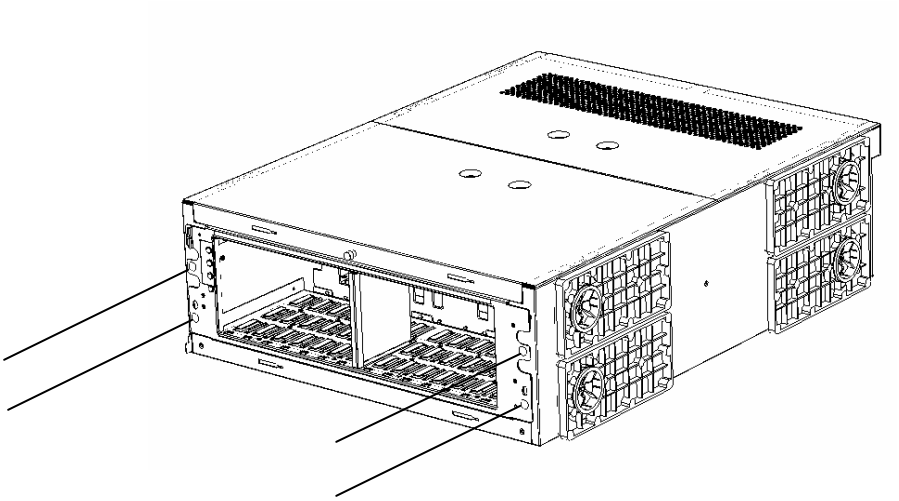
1．下図のようにタワーコンバージョンキット本体に、ディスク増設ユニットを奥までゆっくりと挿入します。

⚠注意

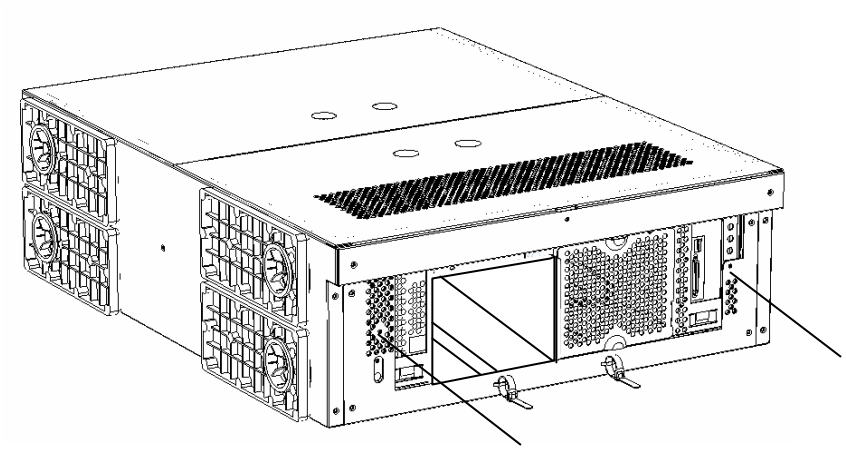
- 一人で持ち上げない
- 指を挟まない



2．装置前面をネジ（大）で固定します。（４本）



３．装置背面をネジ（小）２本で固定します。



設置

タワーコンバージョンキットに挿入したディスク増設ユニットを設置します。
設置については、以下の事項を十分にご覧になり、適切な場所へ設置してください。

⚠警告

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。
指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。
詳しくは、３ページ以降の説明をご覧ください。

- 指定以外の場所で使用しない
- アース線をガス管につながない

⚠注意

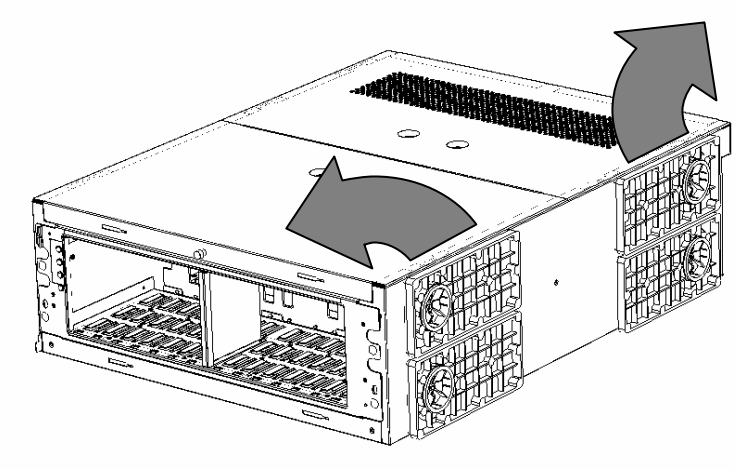
装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。
指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、３ページ以降の説明をご覧ください。

- ２人以下で搬送・設置をしない
- 設置するときは必ず装置底部のスタビライザを開く
- 定格電源を超える配線をしない

次に示す条件に当てはまるような場所には、設置しないでください。これらの場所にディスク増設筐体を設置すると、誤動作の原因となります。

- スタビライザが設置できない場所。
- 床におうとつや傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近く（やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください）。
- ディスク増設ユニットの電源コードを他の接地線（特に大電力を消費する装置など）と共用しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ（商用電源をリレーなどでON/OFFする場合の接点スパークなど）を発生する装置の近く（電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください）。

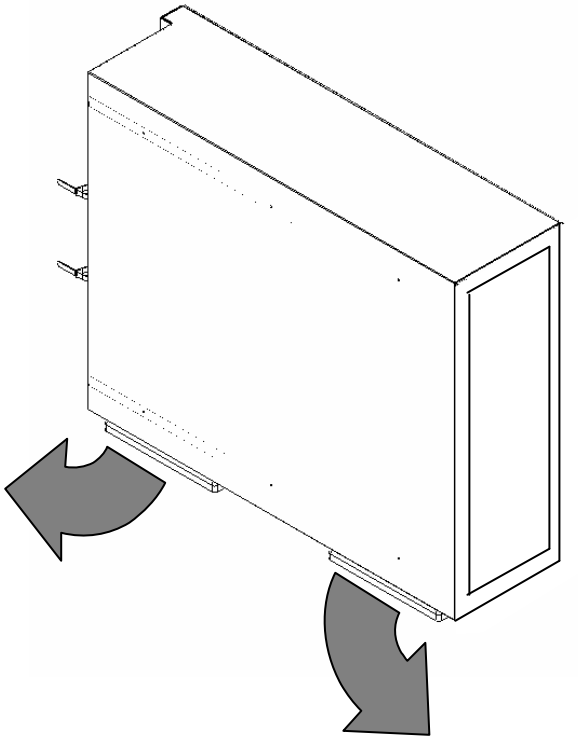
1．ディスク増設ユニットを倒した状態で上になっている方のスタビライザを開きます。（２個）



2．ディスク増設ユニットをゆっくりと立て反対側のスタビライザを開きます。（２個）

ヒント

ディスク増設ユニットを壁際に設置する場合は、壁に向かい合う側にある2個のスタビライザをたたんでください

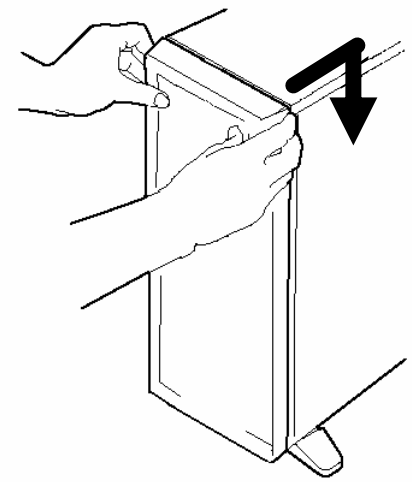


3．取り外したハードディスクと電源ユニットを元の位置に取り付けます。
取り付けの方法は、ディスク増設ユニットの取扱説明書を参照してください。

重要

電源ユニットを取り付けるときは、タワーコンバージョンキットに付いているケーブルタイを挟まないように注意して取り付けてください。

４．フロントベゼルを取り付けます。



ケーブル接続

ディスク増設ユニットは、本体装置とSCSIインタフェースケーブルで接続する必要があります。次の手順に従ってSCSIインタフェースケーブルの取り付け／取り外しをします。

SCSIインタフェースケーブル

ディスク増設ユニットを本体装置のディスクアレイコントローラに接続するには、指定しているSCSIインタフェースケーブルをIOモジュールに接続します。IOモジュールには、68ピンのVHDCI(Very High Density Computer Interface）コネクタがついています。

⚠ 注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがを負うおそれや物理的損害を負うおせれがあります。詳しくは3ページ以降の説明をご覧ください。

- 電源プラグを抜かずにインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない。
- 指定以外のインターフェースケーブルを使用しない
  インターフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。
- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
  インターフェースケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたりコネクタピンが曲がっていたり汚れたりしていないことを確認してください
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
  インターフェースケーブルの接続がゆるんだまま使用しないでください。
  インターフェースケーブルを接続したら、ネジ止めなどのロックを確実におこなってください。インタフェースケーブルを取り外すときはロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください
- ケーブルを踏んだり、重い物を乗せる等の機械的ストレスがかかったり、熱などを加えない。

重要

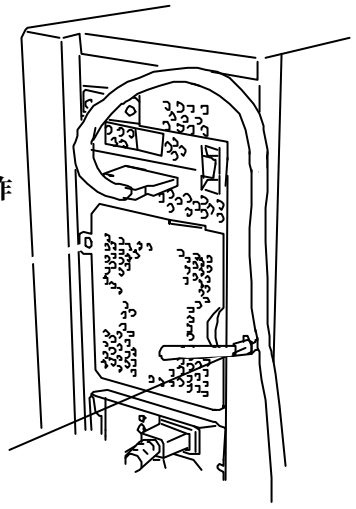
- SCSIインタフェースケーブルは次に示すモデルをお買い求めください
  （2003年1月現在）
  －MK410-93(01)　ケーブル長1m
  －MK410-93(03)　ケーブル長3m
  －MK410-93(06)　ケーブル長6m

取り付け

重要

- ディスク増設筐体、本体装置の電源をオフにしてから接続してください。オンの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- ＳＣＳＩインターフェースケーブルはケーブルタイで固定してください。

1．　ＳＣＳＩインターフェースケーブルをＩＯモジュールのＳＣＳＩコネクタに合わせる。
2．　つまみネジを指でしめて、コネクタを完全に固定する。



３．サイドカバーの取り外し／取り付け

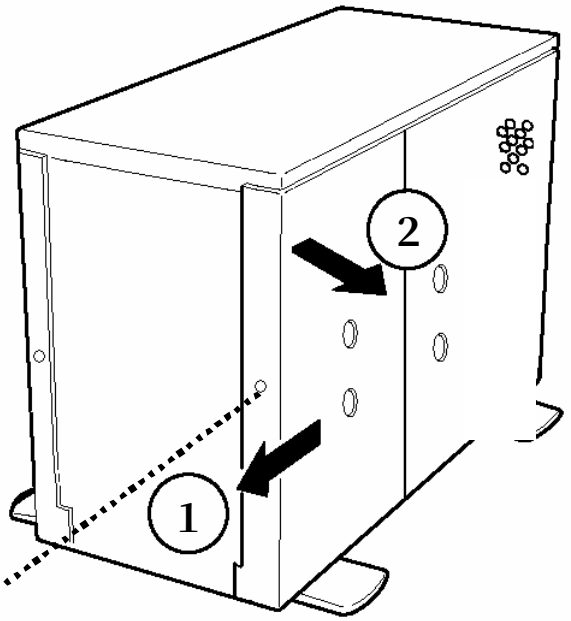
オプションボードの取り付け／取り外しを行うときはサイドカバーＡとサイドカバーＢを取り外します。
ＦＡＮモジュールの取り付け／取り外しを行うときはサイドカバーＡのみを取り外します。

重要

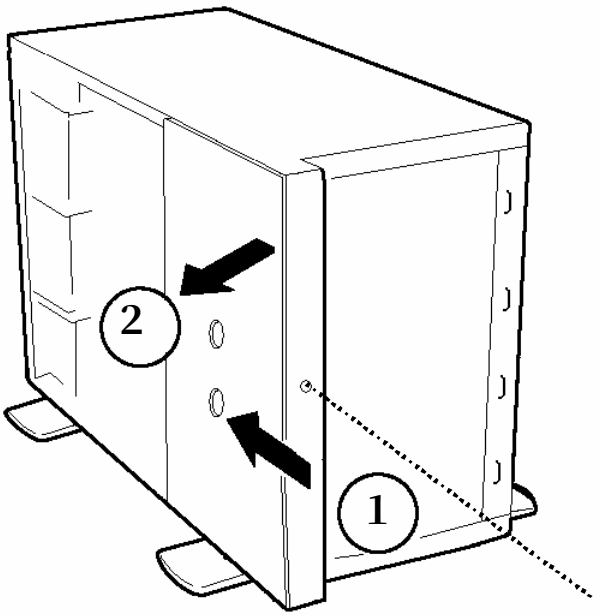
オプションの取り付け、取り外し、FANモジュールの取り付け、取り外すを行うときは必ずディスク増設ユニットの取扱説明書に従ってください。

取り外し

１．　フロントベゼルを取り外す。
２．　装置正面のネジ１本を外し、サイドカバーＡを取り外す。

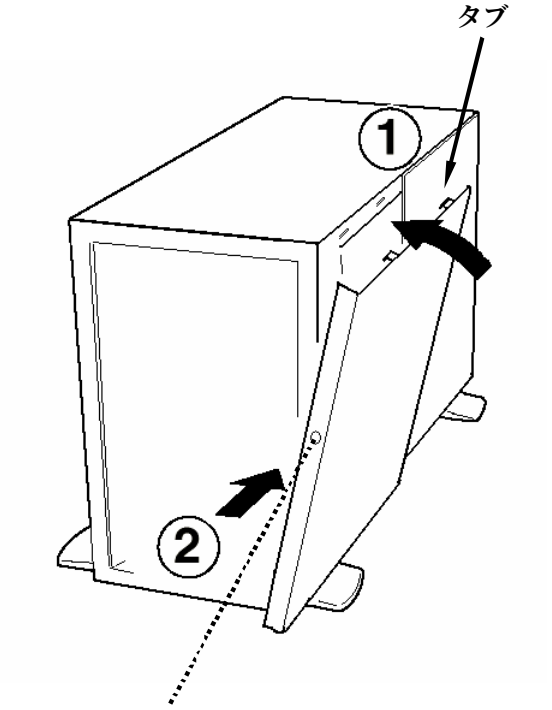


３．　装置背面のネジ１本を取り外し、サイドカバーＢを取り外す。



取り付け

サイドカバーを取り付けるときは、取り付けと逆の手順でサイドカバーB、サイドカバーAの順で行います。サイドカバーのタブが本体フレームに確実に差し込まれれていることを確認してからネジで固定してください。



三菱サーバコンピュータ　FT8600 シリーズ

MN8141-33
ディスク増設ユニットタワーコンバージョンキット

取扱説明書

2003 年1月初版

三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社
〒247-8520 神奈川県鎌倉市上町屋 325
http://www.mdit.co.jp/

弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

このマニュアルは再生紙を使用しています。